

令和7年度河川等水質検査結果

	採水地	類型	日付	検査項目(基準値)						
				天候	水温	透視度	PH	SS	BOD	DO
				—	—	—	6.5~8.5	25mg/L以下	3mg/L以下	5mg/L以上
1	西谷田川(上岩崎橋)1回目	B	令和7年5月8日	晴	20.2		7	14	1.5	7.3
2	西谷田川(上岩崎橋)2回目	B	令和7年8月5日	晴	31.2		7.4	7	1.8	10
3	西谷田川(上岩崎橋)3回目	B	令和7年11月5日	曇	14.5		7.4	11	1.1	7.8
4	西谷田川(上岩崎橋)4回目	B	令和8年2月5日	晴	6.8		7.9	6	1.1	14

※ 茨城県が河川のB類型で類型指定を行っています。

	採水地	類型	日付	検査項目(参考値)						
				天候	水温	透視度	PH	SS	BOD	DO
				—	—	—	6.5~8.5	50mg/L以下	5mg/L以下	5mg/L以上
1	小貝排水路(筒戸)	C	令和7年8月5日	晴	30.2		7.5	8	1.8	8.7

※ 類型指定していないため、河川のC類型の基準値を参考に準用しています。

	採水地	類型	日付	検査項目(参考値)						
				天候	水温	透視度	PH	SS	COD	DO
				—	—	—	6.0~8.5	—	8mg/L以下	2mg/L以上
1	大池(放流直下部)	C	令和7年8月5日	晴	34		9.4	35	24	18
2	狸穴池(放流直下部)1回目	C	令和7年5月8日	晴	19.5		6.9	13	7.8	3.6
3	狸穴池(放流直下部)2回目	C	令和7年8月5日	晴	28.6		7.1	9	5.9	6.6
4	狸穴池(放流直下部)3回目	C	令和7年11月5日	曇	12		7.4	35	11	8.8
5	狸穴池(放流直下部)4回目	C	令和8年2月5日	晴	4		7.7	15	13	10

※ 類型指定していないため、湖沼のC類型の基準値を参考に準用しています。

用語説明

・水素イオン濃度(PH)は、水の酸性・アルカリ性を示す数値です。PHが7のとき中性で7より数値が大きくなるとアルカリ性、小さくなると酸性になります。

・生物学的酸素要求量(BOD)は、微生物が水中の有機物などを酸化分解するために必要とする酸素量を表したものです。水中に存在する有機物の量が多いと、微生物が有機物を分解するときに消費する酸素量も多くなります。この値が大きいほど有機物が多く、水が汚れていることとなります。河川の有機汚濁を測る代表的な指標です。

・化学的酸素要求量(COD)は、水中に含まれる被酸化性物(主に有機物)を酸化するために必要とする酸素量を示したもので、有機物による水質汚濁の指標となります。湖沼・海域の有機汚濁を測る代表的な指標です。

・溶存酸素(DO)は、水中に含まれる酸素量を示します。有機物による汚濁が著しいほど低い値を示します。

・浮遊物質(SS)は、水中に浮遊している粒子状物質のことで分かりやすく言うと、「水のごり」。数値が大きいほど水が汚れています。